

保健だより 特別号 ～9年 薬物乱用防止教室～

H29 12月 大泉学園 大泉中学校 保健室

12月1日、学校薬剤師の勝田先生を講師に迎え「薬物乱用防止教室」を行いました。今、2人に1人はこれからの人生で身近にドラッグの影を感じ、4人に1人はドラッグに誘われる時代だと言われています。薬物の誘いを断り逃げるためにも、正しい知識を身に付けてほしいと思います。

大阪府の平成28年度中における全薬物事犯検挙人員に占める覚醒剤事犯検挙人員の割合は約88%でした。覚せい剤取締送致件数は大阪府がダントツ1位です。とても身近な問題なのに、事前アンケートで覚醒剤を知らない人が31%もいました。

また、若年層（20歳代までの）検挙人員が64%のうち大麻も知らない人が17%いました。今年も使用や所持で芸能人などが逮捕されて話題になりました。

もう一度配布した冊子をよく読んで復習して、知識を身に付けてください。

～薬物乱用防止教室を終えて～

勝田先生のお話やDVDを見て、わかったこと

- ・薬物乱用は絶対してはいけないし、誘われても断ったり逃げる。
- ・薬物は1回やっただけでも薬物乱用になることがわかった。
- ・薬物にはアンパンなどの名前もあるんだな。
- ・薬物は1回でも使用すると、やめられなくなり、たくさんの副作用が現れることがわかった。
- ・医療品を目的以外で使用しても薬物乱用になる。
- ・自分の体を大切に。
- ・想像以上に怖いんだな～と思いました。

どんなに仲が良くても、きっぱりと何回でも断りましょう！危険を感じたら、その場から逃げましょう！！助けを呼ぶのも大事です！！



感想

- ・薬物はいいことが一つもないのに、なんで吸ってしまうのかが不思議だった。関わるとよくないことがわかった。もし見かけたり、やらされそうになったら全力で逃げようと思いました。正しい知識を持って今後も自分の生活を大切にしようと思いました。
- ・もし街中で声をかけられたり友だちに誘われたりしても、はっきりと断らないと自分自身だけでなく家族などの周りの人にも迷惑をかけてしまうことがわかった。
- ・かわいいパッケージに騙されない。
- ・薬物は死ぬかもしれないなんて、怖いと思った。
- ・ロールプレイをしてわかったことは、誘われたら勢いでや人もいると思ったから、僕は絶対にやらない。
- ・薬物は3回人を殺すと聞いて、すごく驚いた。

ゲートウェイドラッグって知っていますか？

ゲートウェイとは「入り口」で、喫煙が、違法薬物の乱用のきっかけとなることを意味しています。



（過去の記事）逮捕された大麻吸引者全員に喫煙習慣

大麻事件摘発の少年「たばこの延長で…」大阪府警調書分析

たばこの延長で大麻に手を出し、仲間とのしがらみでやめられなくなる。大阪府警少年課が大麻取締法違反（所持、譲渡）容疑で摘発した16～18歳の19人の供述内容を分析したところ、親しい人に誘われ軽い気持ちで始めたものの、友人同士の連帯感から引き返せなくなる少年特有の傾向が浮かび上がった。未成年の大麻汚染は広がっており、府警は「どんな家庭環境でも大麻に手を出す可能性がある」と指摘している。

大麻取締法違反容疑で摘発した少年19人の取り調べ調書を分析。共通する要因などを洗い出した。19人はすべて少年で、逮捕時は高校生10人、高校中退者8人、中卒が1人。非行歴がないのは7人で、通学先も府立、私立、専門学校など偏りはなく、どのような環境でも薬物に手を染める可能性が浮き彫りになった。

ただ、全員に喫煙習慣があり、うち12人は中学1年から、6人は中2から、1人は高校1年からそれぞれたばこを吸い始めていた。同じように煙を吸う形態が、大麻使用への心理的なハードルを下げさせているとみられる。

1本くらい、いいやん。
一緒に吸おうや。



- ・体に悪いからやめとくわ。
- ・早死にするからやめとくわ。
- ・ぜんそくあるから無理やねん。
- ・そんなことより他のことして遊ぼうよ！